



# CUBAPON ニュース

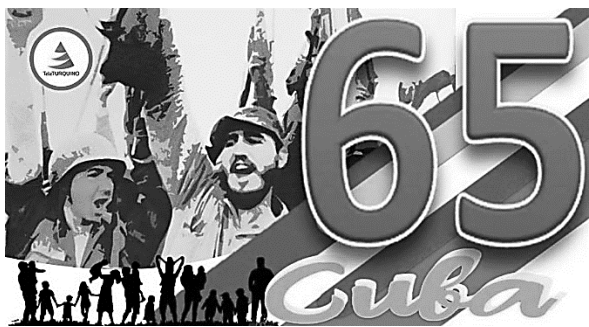
日本キューバ連帯委員会

http://ifcc1985.com/cubapon/ 郵便振込口座 00170-2-195919

No.70

2024年  
1月

東京都新宿区山吹町 316 番  
菊地ハイツ 101 IFCC 気付  
TEL : 03-3268-4387  
FAX : 03-3268-6079  
E-mail jvccp@rmail.plala.or.jp



## 祝★キューバ革命 65 周年

セスペデス広場に面した市庁舎のバルコニーでフィデル・カストロ革命最高司令官が革命勝利を宣言した 1959 年 1 月 1 日、「喜びは計り知れないが、これからはすべてがより困難になる」との言葉通り、困難に度々襲われながらも独立と尊厳を守り抜いてきたキューバ革命が 65 周年を迎えました。CUBAPON はキューバに学び、寄り添い、微力ながらともに歩んでいきます。

### 革命 65 周年 ★ ディアス=カネル大統領より決意表明(新年のご挨拶)

同胞の皆さん

困難な道を登ってとても高い山の頂上に辿り着いたように、2023 年が終わりました。65 年間、何度もそうであったように、きつい登り道で、時として後退しなければならなかったこともありましたが、我々は登り切りました。フィデルとラウルが私たちに教えてくれた社会主義の思想の道に到達することは、打ち勝つことであり、それぞれのゴールは、新たな出発点であるとの意識を持つことです。

キューバ革命 65 周年を祝うにあたり、皆さんに感謝



の抱擁を送りたいと思います。60 年以上に及び私たちに科せられている経済封鎖の強化と、残虐な封鎖を乗り越えようと出口を絶え間なく模索する中で発生してきた誤りにより、前に進む一歩はとてつもなく大きな挑戦だからです。彼らの残虐性から永遠に続くと思われる封鎖と制裁政策の犯罪的な重さに長い年月、耐え抜いている中で、現在、全てがいつもに増して厳しいように思われます。

しかし、私たち革命家はこの 65 周年を迎えるまで、降参することも旗を下ろして明け渡すこともしませんでした。敵の占い師たちの予測に抗ってきた歴史的な世代は、革命を今日まで守り、手渡し、「我々是可以する」との信念で今も私たちに寄り添ってくれています。「デマハグアの叫び」から私たちの時代まで、革命が持ちこたえるための秘策は、すべての敵と対決することです。強固なリーダーシップと一連の原則を土台として抵抗と創造性の唯一の歴史への人民の参加です。

私たちに着想を与え、変えるべきは変えるという大きな課題が必要であり、求められる新たな挑戦の年、2024 年を熱情と喜びで迎える前夜、私たちが皆さんに共有を呼びかけるのは、こうした歴史です。実行する、創造する、封鎖の檻を創造の力で打ち破る、それが私たちの任務です。誰も、私たちの代わりにやってはくれません。

革命は一日で終わる営みではありません。1 年でも終わらないし、65 年でも終わりません。それは思想であり意思です。それが革命です。私たちは誰も一人ではありません。私たちは一つであり、不可能に打ち勝つのです。

私たちはやり切るでしょう。

新年、おめでとう。

祖国か死か！

我々は勝つ！

(拙訳：セニョリータ)

元旦夕方に発生した能登を震源とする「能登半島地震」で被害を受けられた皆さまの安全と、一日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

日本キューバ連帯委員会

2・3 面は、  
2023 秋・CUBAPON 訪問団  
のレポートです！

CUBAPON の活動にご協力いただきありがとうございます。2023 年度会費(2023・6・1~2024・5・31)会費:3000円のお願い継続中です。  
振込は 郵便振込口座 00170-2-195919 口座名:日本キューバ連帯委員会。

# CUBAPON 友好訪問団

## 4年ぶりのキューバへ！



テオティワカン遺跡（メキシコ）



革命広場・チェのモニュメント（ハバナ）



子どもを抱くチェの像（サンタクララ）



医療現場を訪ねて（サンタクララ）



稲作支援の現場を訪ねて（青年の島）



ICAP（諸国人民友好協会）にて

CUBAPON 友好訪問団が4年ぶりにキューバ訪問を果たしました。

君島団長以下、9人の団員からなる「2023年秋・友好訪問団」は、度重なる

日程変更により翻弄され、ときに駆け足で巡る過酷な行程となりましたが、キューバの困難な現実と、そこで生きる人々の強さと優しさを折々に感じる旅でした。

11月29日昼、成田空港からアエロメヒコで約13時間のフライト後、メキシコ・シティに到着し、テオティワカン遺跡、ソカロ広場など一日観光を楽しみました。

翌日、午前の便でハバナに到着し、ここで事前のオンラインによる入国・税関審査システム「D-Viajeros」の効果で、驚異的な速さで通過し、ガイドのマリオさんと合流することができました。

### ● 困難の原因は経済封鎖か、政策の失敗か

市内に向かうバスでは、ベテランガイド、マリオさんから現在のキューバの状況について「キューバは大変だが、原因の大部分は米国の経済封鎖によるもので、キューバの失敗は少ない」というレクチャーがありました。

今回、さまざまな場面で起きていることと、この言葉を照らし合わせ、考え込むことが何度かありました。特に、長年の課題であった統一通貨を2021年に実行したものの、闇レートが存在や通貨が使えない「カード専用の店（MLC）」の出現で通貨自体の信頼性が揺らいでいる事態はどう捉えたら良いのか、悩ましいところです。

ただ、キューバは今まで何度も危機的な困難を迎え、それを「過渡期」と捉えて、危機を脱するために力を尽くし、実際に脱出してきた歴史があります。今後のキューバの動向に注目していく必要があります。

### ● 女性が頑張るキューバ

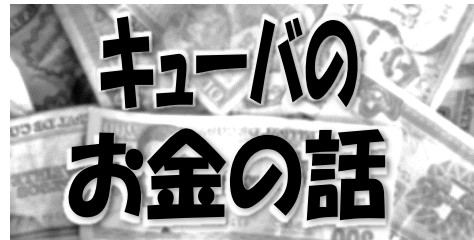
今回、訪問先で数多くの女性リーダーに出会いました。CTC（キューバ労働組合中央組織）で私たちを迎えてくれた国際局長をはじめ3人の女性たち、サンタクララのポリクリニック院長も女性、ICAPではハンガリーでキューバ大使を務めたアリシア元副総裁が帰国していて、アジア担当のラファエラとともに再会を喜んでくれました。青年の島の日系人協会ケイコ会長、島のマルレイン ICAP 総裁、いつも恐ろしく元気なヨシコちゃん、ナンシーおばさん。

困難に決してひるまないキューバの女性たちをまぶしく感じました。



## 2023 年秋・CUBAPON 友好訪問団の行程

月 日	都市名	スケジュール
1 11/29 (水)	東京成田空港発 メキシコシティ着	午後：アエロメヒコで空路、メキシコシティへ ◇メキシコシティ市内観光 【メキシコシティ泊】
2 11/30 (木)	メキシコシティ発 ハバナ	アエロメヒコで空路、ハバナへ ◇革命広場へ ◆キューバ労働者中央組織（CTC）表敬訪問 【ハバナ泊】
3 12/1 (金)	ハバナ サンタクララ  ハバナ	朝食後、専用車でサンタクララへ ◇ゲバラ廟、ゲバラ博物館、列車転覆記念館見学 ◆ポリクリニック見学 ハバナに戻り、ボデギータで夕食 【ハバナ泊】
4 12/2 (土)	ハバナ 青年の島	朝食後、バタバノ港に移動（約70分） フェリーで青年の島へ（約5時間） 【青年の島泊】
5 12/3 (日)	終日青年の島	朝食後、◇モデロ監獄見学 ◆メジャ地区にて稲作支援現場見学 ◇フカロの日系人宅で昼食 ◆青年の島の諸国民友好協会（ICAP）表敬訪問 【青年の島泊】
6 12/4 (月)	終日青年の島  ハバナへ	※夜行ジェットフェリー欠航につき、延泊 ◆ホセ・マルティゆかりのフィンカ・アブラ博物館見学 ◇ヘロナ中心部ブルーバード通り散策、ショッピング ◇シロ・レドンドの「よしこさん」宅訪問 ヘロナ港に移動、夜行フェリーにてハバナへ 【船中泊】
7 12/5 (火)	ハバナ	ハバナ着後、ホテルにて朝食 ◆キューバ諸国民友好協会（ICAP）表敬訪問 ◆カストロセンター見学（外観） ◇サン・ホセお土産市場にてショッピング 空港へ移動、空路、メキシコシティへ メキシコシティでトランジット
7 12/6 (水)		-----日付変更線-----
8 12/7 (木)	東京成田空港着	成田着（6：30着）  お疲れさまでした



私が初めてキューバの土を踏んだのは2002年。当時、外国人観光客は米ドルを店でそのまま使っていました。また、主に贅沢品を売るドルショップが登場しました。これは、外国から仕送りされるドルをタンス預金や闇取引から市場に引き出すための苦肉の策と言われていました。

2004年、3度目となるキューバ渡航の直前、「米ドル使用禁止」が伝えられ、用意した米ドルを現地で兌換ペソ（CUC）に両替しなければなりません。また、その数年後には、「米ドルだけ両替手数料を高くする」という新しい規則ができました。

この頃、ブッシュ政権下の米国が経済封鎖を強め、キューバに米ドルが入らないよう監視を強化したことを受け、キューバは監視をかいこぐために不要な出費を強いられており余儀なくされ、米ドルだけ両替手数料を引き上げる必要があったのです。

その間、人民ペソと配給で成り立っていたキューバ人の生活も変わってきました。配給品目が減り、兌換ペソがなければ手に入らない生活必需品がどんどん増えていきました。

2015年頃、ほとんどの店で兌換ペソと人民ペソ両方が表示され、通貨統一が現実味を帯びてきました。2019年の帰国時には「CUCはなくなるから、全部人民ペソに両替して帰れ」と言われ、その言葉通り、2021年1月、CUCは姿を消し、人民ペソに通貨が統一されました。

しかし、通貨統一後、初となった今回の訪問団でも、ペソのレート問題、カードしか使えない店、「外貨に両替できない」など、相変わらずややこしいキューバのお金事情を垣間見ることになりました。

外貨を獲得して経済を立て直したいキューバと外貨を獲得させまいとする米国との闘いの中で、「苦肉の策」がキューバをややこしくしているのは間違いありません。これもまた経済封鎖と闘うキューバの現実なのです。

（セニョリータ）



横断幕で迎えてくれた青年の島の日系人協会の皆さん

キューバへの日本人移民125周年を記念して訪れた青年の島では、日系人協会に暖かく迎えられ、ケイコ会長、ウリセス事務局長、ヨシコさんのサポートでCUBAPONが稲作プロジェクトを実施したメジャ地区を見学し、日系人の家で素晴らしい昼食をごちそうになりました。

ハバナに戻る船の欠航で、1日滞在が伸びましたが、休館日にも関わらずマルレインICAP総裁の計らいでホセ・マルティゆかりのフィンカ・デ・アブラ記念館を見学させてもらったり、メインストリートを散策したり、楽しく充実した時間を過ごしました。

友好のぬくもりを改めて感じた青年の島訪問でした。

（報告者：村上久美子）



キューバへの日本人移民125周年  
青年の島へ



日本キューバ連帯委員会兵庫発：

# キューバ連帯 映画と講演の集い in 尼崎

2023年11月18日、尼崎市中小企業センターにおいて、日本キューバ連帯委員会兵庫（代表・今西正行）の主催により「キューバ連帯、映画と講演の集い」を開催し、約40名の友人・知人が集まりました。



王秀華さんによる二胡の演奏

「連帯委員会兵庫」は2019年、キューバ革命60周年の年に尼崎の仲間が呼びかけ、キューバ友好訪問したのをきっかけに結成しました。

同年末に「報告と講演の集い」を開催しましたが、その後は「コロナ禍」で何もできず、ようやく今回の「連帯の集い」を開催することになりました。

集いのテーマは「キューバの歴史と現在」で、最初に映画「そしてイスラの土となる」を上映しました。今から100年前、日本人が初めてキューバへ農業労働者として「入植」し、歴史に翻弄されながらも、革命の地キューバで懸命に生きてきた日本人・日系人の姿を取材したドキュメンタリー映画です。

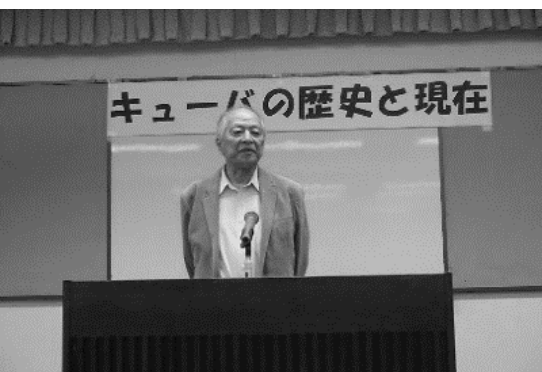
映画では撮影時は存命だった105歳をこえる移民1世の島津三一郎さんが登場して、歴史と人生を語りました。

「集い」の間では、現在のキューバへの最大の支援国である中国出身の王秀華さんが二胡を演奏して国際連帯の気風を盛りあげました。

最後に日本キューバ連帯委員会（CUBAPON）事務局長の鎌田篤則さんが「日本キューバ連帯の歩み」について報告しました。

日本キューバ連帯委員会は1994年に結成され、芸術、文化、スポーツ、労働などの交流を中心として友好と相互理解を深める活動を続けています。

しかし、トランプ政権以降、アメリカによるキューバ制裁が激化して航空機や船舶の渡航が



講演するCUBAPON 鎌田事務局長

困難になり、「日本からの友好訪問」も翻弄されています。しかしキューバは国際的にはまったく孤立しておらず、国連総会では「アメリカはキューバ制裁・経済封鎖をやめろ」という決議が毎年、圧倒的な賛成で採択されており、2023年11月の採択でも、反対したのはアメリカとイスラエルの二国だけで、棄権のウクライナを加えた、この三つの国以外はすべて賛成しました。また、キューバ政府は中南米の代表として国際機関で米欧帝国主義の横暴を弾劾し続けています。

なお集会後の関係者懇親会には鎌田さんの古くからの友人の方々もかけつけて、大いに盛り上がりました。

（報告者：日本キューバ連帯兵庫・藤岡正雄）



挨拶する今西代表

## TOUR OPERATOR

アイエフシーは  
CUBAPON関連の手配旅行者です

キューバをあなたに届けます

- ◆ アイエフシーはFCC国際友好文化センターの関連旅行会社です。久と人との出会い”を通じた友好交流プログラムを演出します。
- ◆ アイエフシーは文化、政治、福祉、環境分野の視察、研修、調査のプログラムをお手伝いします。
- ◆ アイエフシーはキューバなど中南米、ベトナム 中国などアジア、ドイツなど西欧、デンマークなど北欧のプランニングを行っております。

東京都知事登録旅行業第3-3757号

〒162-0801

東京都新宿区山吹町316番地 菊地ハイツ101

TEL 03-3268-4387 FAX 03-3268-6079

## イスラエルによるジェノサイドを非難する！

フィデルが1979年、国連総会で訴えたように、キューバはパレスチナの民族自決、国家樹立を支持し、シオニズムによるジェノサイドを一貫して非難してきました。今まさにガザ地区でイスラエルが行っているジェノサイドに対し、キューバは強い怒りの声をあげています。



## 地球を守るには 平和が必要だ！

ディアス=カネル大統領、  
COP25で訴える！

2023年12月1日、アラブ首長国連邦のドバイで開催された気候変動首脳会議（COP28）に出席したディアス=カネル大統領は、演説の冒頭、「ここから2,000キロあまり離れたガザで、ジェノサイドが行われていることを思い起こすことから始めることをお許し願いたい。キューバを代表し、私たちは、占領されているパレスチナのガザ住民に対する暴力とテロの拡大を断固として非難する」と述べ、「地球を救うためには、平和が必要である」と訴えました。

## パレスチナ人医学生を激励

我々は  
君たちと  
ともにある！  
ビバ！  
パレスチナ！



大統領にパレスチナのスカーフ、クフィーヤを  
プレゼントする医学生

2023年11月19日、ディアス=カネル大統領は、キューバの医学校で勉強しているガザ地区の青年53人を含む144人のパレスチナ人医学生と懇談し、イスラエルによるジェノサイドを強く非難するとともに、パレスチナとの連帯を改めて確認、医学生を激励しました。

### ディアス=カネル大統領：

パレスチナは遅かれ早かれ解放される。君たちはパレスチナ人民との約束を果たさなければならない。君たちは祖国を失ってはいない。我々はさらに力を込め、イスラエルによるジェノサイドを非難する。

キューバで学んでいる君たちはパレスチナの代表だ。夢が叶って、将来、君たちがもっと祖国の力になれるよう、我々は君たちとともにある。

ビバ、パレスチナ！

## パレスチナの民族自決と 国家樹立を訴える！

フィデル・カストロ  
(1979年・国連総会演説)



非同盟諸国にとってパレスチナ問題は中東問題の真髄である。双方（アラブ諸国の権利とパレスチナ問題）は統一して全体を形成しており、個別の解決はできない。この地域の公正な平和の土台は、アラブ地域のすべての占領地からのイスラエルの完全かつ無条件の撤退に始まり、パレスチナ人民への全ての占領地の返還と祖国への帰還の権利を含む不可侵の権利の回復に基づかなければならない。総会決議3236に従い、パレスチナの民族自決と独立国家の樹立が求められる。これは、占領下のパレスチナおよびアラブ地域で、イスラエルによって採られている措置と、パレスチナの土地および他のアラブ地域での植民地または入植地設立の違法性と無効性を意味し、その即時解体が問題解決の要件である。

第6回サミットでのスピーチで私が言ったように、私たちは狂信者ではない。革命運動の中であらゆる人種差別とボグロムに対する憎しみが培われてきた。私たちは魂の底から全力でそれを拒否する。当時、ナチズムがヘブライの民に対して行った情け容赦ない迫害とジェノサイドは強烈だ。しかし、帝国主義とシオニズムがパレスチナの人々に対して行っている排除、虐待、ジェノサイドは、我々の近代史の中でそれに類似するものはナチズムより他に想起しようがない。

祖国を追われ、世界中に散らばり、迫害され殺害された英雄的パレスチナ人たちは、無私の心と愛国心の強烈な模範であり、我々の時代に犯されている最大の犯罪の生きたシンボルである。

（拍手）

1979年10月12日

（拙訳：セニョリータ）



# 夢 **不可能さえ可能にしよう**

iHagamos posibles los sueños  
hasta los imposibles!

2023年12月22日「革命65周年の年」、コンベンション・パレスで行われた第10期人民権力全国議会第2通常会期の閉会式において、ディアス＝カネル大統領兼キューバ共産党中央委員会第一書記が1年間の締めくくりの演説を行いました。

この中で大統領は、深刻なキューバ経済の問題の多くは米国による経済封鎖によって続いていることは間違いないにせよ、自身の誤りを正し、是正、行動する必要性を訴えました。

## ● 強化された米国の経済封鎖、国際経済関係への危機

キューバ経済を特徴づける深刻な歪みと構造的変形の原因について、米国の圧力の強化と国際的な経済問題と併せて我々自身の過ちの影響も否認しない。この定例議会で承認された措置を適切に実行できるかどうかは、私たちが持つ能力次第である。米国が、キューバ経済を窒息させようとしているあらゆる措置はキューバの抵抗を破壊することを目的とした爆弾である。それらの爆発を防ぐ方法と手段を見つけることが重要であり、我々はここで、固い決意で彼らに立ち向かわなければならない。

## ● 米国の対キューバテロ行為

マイアミの極右に関連する分子による多数の犯罪やテロ行為は、米国の公的な機関の直接参加の疑義も排除されていない。彼らは、キューバとその外交部隊に対する暴力的な計画に資金を提供し、組織し、実行している。

米国の政策がキューバに対する暴力行為の実行を奨励し

ていることは「不合理」ではなく、歴史によって証明された行動パターンである。

共和党の前任者に完全に忠実に従って行動する民主党バイデン政権の3年間は、キューバに対する敵意は政党に関わらず、小さな隣国の主権を受け入れることができない帝国の覇権的態度に基づいた政策である。

## ● 対キューバ経済封鎖に反対する国連決議に圧倒的支持

世界の政府の大多数は、30回以上連続して「封鎖に対するキューバの立場」が支持されてきた（今年度は2023年11月2日実施）。

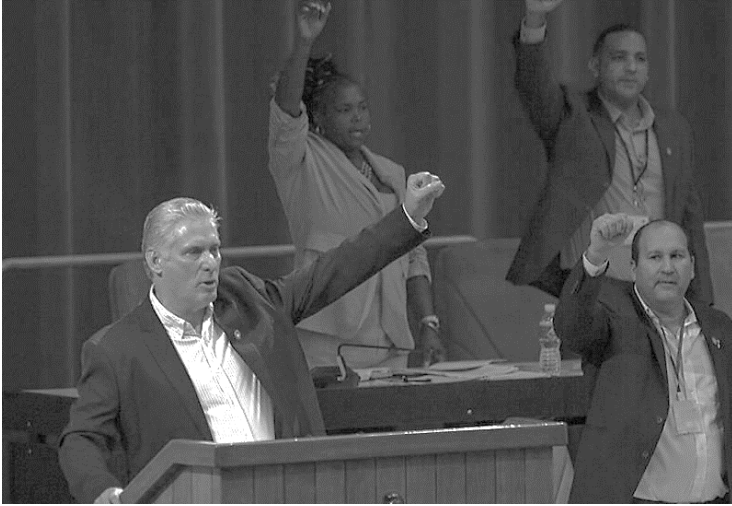
しかしながら帝国の傲慢さは、この世界的支援を軽視し、顔を背け、嘘と中傷による二重基準の言説を弄しながら、どんな犠牲を払ってでも革命を破壊するという本当の目的を捨てていない。今日、これらの問題とパンデミック、世界的経済危機の影響の同時発生にどう立ち向かうか、私たちにかかっている。決意と毅然とした態度、知性と誠実さ、楽観主義と自信を持って対処、実行する。仕事、才能、創造的な抵抗で克服できると確信している。

## ● 封鎖に抗するキューバ

資本と資金へのアクセスを遮断し、経済を窒息させ、それによって国民の基本的なニーズに応える政府の能力を損なわせようとする米国の「キューバ経済窒息政策」の影響は、電気、医療、教育、水道、公共サービス、公共交通機関、食品や医薬品の生産を含むいくつかの重要なサービスの落ち込みに現れており、これらのサービスのすべてで設備、部品、部品の輸入が必要となる一方、燃料や原材料は、私たちが当てにできる財源では十分ではない。

たとえ国家の経済運営が誇ることができないものであったとしても、国民の消費のための供給の縮小、インフレの水準、そして大多数の国民の購買力の不足といった我々の問題





の多くは、封鎖を理由に存続する。

議会での議論の中では、犯した誤りについて批判的かつ自己批判的な議論が行われている。

キューバに対する絶え間ない転覆と偽情報は、国を破産させ、社会の腐敗を引き起こし、統治不能を生み出すという目的で行われているが、敵の目論見は完全に失敗している。

### ● 問題の解決に向けて

解決策に結びついていない問題と、実を結ばなかった対策、達成されなかった予測について、発注タスクの設計における誤りとその不適切な実施を認識するとともに、規制の管理と防御の欠如、およびそれらの施行に責任を負う国家機関の機能不全が誤りを助長していることに留意する必要がある。キューバ社会における我々が望まない否定的な現象や症状の存在を助長している。

段階的な是正を進める時期が来た。

経済回復をより迅速に進めるため、国が 2024 年に実施すべき措置がどれだけの効果を発揮できるか、それは労働へのインセンティブや資源のより適切な配分など、より多くの富を生み出すためにどれだけ努力できるかにかかっている。

### ● 是正は革命のプロセス、私たちは重要な決断の主人公であり目撃者である

経済的な課題の解決を組織的な方法で適用し、その影響を評価し、プロセスを体系的に調整し、最も影響を受ける可能性のある人々、子ども、青少年、若者、女性、高齢者、そして年金受給者や退職者を含め、脆弱な状況にある人々や家族に対し、それぞれに応じた措置が求められる。

キューバ革命は、成功した直後、最大の喜びの時に人々に次のことを告げることから始まった。「喜びは計り知れないが、しかし、やるべきことはまだたくさんある。これからはすべてが簡単になると信じ込まないようにしよう。おそらくこれからは、すべてがより困難になる」(1959年1月1日、フィデル・カストロ)

私たちは経済状況の深刻さを認識しており、それを解決するには行動が必要であると、この 65 年間で認識している。

### 《個別的課題》

- 一部の補助金の段階的な廃止や財政政策の変更などは、経済の現状における持続不可能な逸脱や歪みを修正することを目的とし、利用可能なわずかな財源を必要かつより有効に活用できるようにするための調整である。
- 食料生産には特別な配慮が必要であり、領土ごとに各地域のニーズを解決する必要がある。
- 観光業を回復し、産業の衰退を食い止め、国家を変えて通貨と市場をコントロールし、金融システムを組織して自己資金と通貨管理のレベルを保証する必要がある。
- 社会主義国営企業は、真の自律性を推進し、主要な経済活動の効率レベルを回復し、持続可能な発展を達成するという目的を持って運営されるメカニズムと制度的スキームの変革をより迅速に開始する必要がある。
- ビジネスシステムは、与えられた権限を適切に活用し、供給拡大を可能にする商品やサービスの生産を刺激するために可能な限りのことを積極的に行う必要がある。
- 国家と政府の公共政策は「すべての部門にとって必須」であり、団結を引き裂き、経済の非国家部門を革命に反対させようとする敵の意図に断固として立ち向かう。
- これらの措置に適応するため、すべての経済主体の目的に合わせて調整された明確で一貫したルールが必要であり、変形や否定的な傾向を回避する必要がある。
- 説明、議論、何よりも国の経済的困難を克服するというより高い目的を持って、決定を実行するための条件を作り出すのが我々の任務である。
- キューバが 1 月から「G77+中国」の暫定議長国に就任するにあたり、グローバル・サウスの国々の大義と、国際舞台において発展途上国の利益を最も効果的に代表することを保証するため全エネルギーを傾ける。
- キューバは、外交の権威とリーダーシップ、原則の遵守、対話と協力、そして複数の出来事において合意を形成し発展途上国の団結を守る能力を実証してきた。
- イスラエルが今日パレスチナ人民に対して行っている虐殺を引き続き断固として非難していく。パレスチナの自決権と、1967 年以前の国境を有し東エルサレムを首都とする独立主権国家を持つ権利を擁護する。
- 革命 65 周年にあたり、革命が人々の権利とした社会的成果を維持するため、変えるべきものは変えよう。
- 「革命の思想は私たちにインスピレーションを与え続けている。私たちが代表することを光栄に思う。国民の繁栄という理想を前進させるという夢を共に実現しよう。働く意欲、前進する意欲、完璧を目指す意欲、そして必ず勝利するという深い信念が課せられている。

祖国か死か！



# 今、中南米では

中南米情勢が緊迫しています。CUBAPON はキューバ連帯の旗を掲げると同様に、中南米の人民の闘いと状況を発信します。

## ベネズエラ

### エセキボ地方を巡り、植民地主義との闘い

ベネズエラの隣国ガイアナ（旧英国領ガイアナ）の間に伸びるエセキボ地方を巡り、二国間で領土問題が起きています。

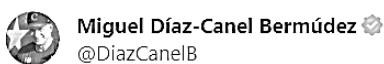
2023年12月15日にマドゥロ大統領（ベ）とアリ大統領（ギ）が会談を行い、「自由で干渉のない対話の継続」を確認し、緊張緩和が図られたにも関わらず、イギリスがガイアナ海域に軍艦を派遣したことから、ベネズエラは6,000人体制で警戒を続けるとしています。

歴史的に複雑な経過のある地域ですが、交渉の裏に手を回すイギリスの態度は植民地的干渉と言わざるを得ません。



## キューバ

能登半島地震と航空機事故に際し、ディアス=カネル大統領がX（旧ツイッター）でお悔みのメッセージを発信しました。



（訳文）今年、最初の日に石川県沿岸部を襲った巨大地震と、火曜日に起きた悲劇的な航空機事故の犠牲者を哀悼し、キューバを代表して、日本の政府、人民の皆さんに、私たちの連帯を伝えます。



午前4:00 · 2024年1月3日 · 8万 件の表示



## アルゼンチン

### トンデモ極右政権誕生



チェンソーを振り上げ「切り捨て」を叫ぶハビエル・ミレイ議員（写真：上）。この男が56%の得票で大統領に就任し、アルゼンチンにトンデモ極右政権が誕生しました。就任と同時に、20の省庁を9つに削減、入省内定者5000人を不採用とするなど、早速「切り捨て」を断行し、その上、「道路を封鎖するものは処罰」という、事実上の「デモ禁止令」を打ち出しました。国民の55%は既に「不支持」と答えています。選挙は大事ですね！選挙を軽んじれば、その代償はとんでもなく高くつくことを、アルゼンチンは教えています。

## セニョリータのラ米★ウォッチ



CUBAPON ニュースを補完するツールとして、中南米を中心に「今、起きている」ホットなニュースをセニョリータ視点でピックアップし、メールでお届けしています。配信ご希望の方はこちらのアドレスにメールを送って下さい！

[jvccpf@rmail.plala.or.jp](mailto:jvccpf@rmail.plala.or.jp)